

おめでとう新1年生

東部ひろばから



うちやま しょうごう
内山 将豪
〈清水東〉



おおわ みり
大和 海璃
〈清水東〉



あべ かつや
阿部 克也
〈清水東〉



いとう
伊藤ひなた
〈清水東〉



きむら ここあ
木村 心愛
〈清水東〉



たきざわ だいた
滝沢 大翔
〈清水東〉



やなぎさわ かく
柳澤 学
〈清水東〉



ひらの あゆか
平野愛優花
〈清水中〉



さかい ゆうき
酒井 友希
〈清水西〉



なかしま けんじろう
中島健次郎
〈清水西〉



いまい りょういち
今井 遼一
〈東町1〉



えれな
ジョージ英怜奈
〈餌差町〉



ふしまつ ゆうせい
藤松 優星
〈下横田町〉



はせがわ
長谷川はる
〈南上横田町〉



ボランティアの方に見守られて元気に登校します



まるやま こうた
丸山 幌太
〈餌差町〉



まるやま りょうた
丸山 稜太
〈餌差町〉



やまだ ゆうすけ
山田 悠介
〈南上横田町〉

順不同・敬称略

はじめまして新任です。

町会連合会 会長



岩城 文夫

この度予想もしてなかった東部地区町会連合会会長を引き受けすることになりました。

職務内容を知る程に、その重責を遂行できるか不安を感じている今日この頃です。

しかし選任されたからには、東部地区の発展のために精一杯がんばりますのでどうか格別のご支援とお力添えを賜りますようお願いいたします。

東部デイサービスセンター 管理者



藤沢 明廣

ご高齢の皆さんと日々接する職場であるということでも、まだまだ戸惑いを感じている毎日です。着任早々からボランティア部の皆さん、公民館利用者の皆さんからお声掛けをいただき力強く思っております。

デイサービスセンターでは、利用者の皆さんが不安なく楽しく過ごしていただくことを、最大の運営目標としております。地域の皆様方からのお力添えがなくてはと感じております。より親しまれる施設にと考えておりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。

地域づくりセンター長



鳥羽 洋一

新年度より市内35地区に地域づくりセンターが設置されました。それに伴い東部地区地域づくりセンター長の任につきました。

今地域の課題は多種多様なものがあり、個々の行政担当や町会連合会の力だけでは課題解決が困難な状況が生まれてきています。そのため行政組織をまとめ、地区の各種団体と連携して課題解決にあたる役割がセンターにあります。東部地区の皆さんが安心して暮らせるまちづくりができるよう皆さんと一緒に励んでまいりたいと思います。

退任の挨拶

一年間の短い期間でしたが会長職の重責から解放され、ホットしております。

その間、多くのことを学ばせて頂きました。

防災問題をはじめいくつもの課題がありました。各町会長様はじめ関係団体の役員皆様方のご支援ご協力に深く感謝申し上げます。

これからも間接的にいささかなりともお役に立って参りたいと思いつつ、東部地区町会連合会の更なる発展・充実を願っております。

前町会連合会会長

山本 昌男

館報合冊版
好評無料配布中!!

東部公民館報の創刊100号を記念して作成をいたしました館報合冊版は大変ご好評をいただき、残り配布数もわずかとなりました。

東部公民館の窓口で引き続き無料配布を行っておりますので、ご希望の方はお気軽にお申込みください。

(東部公民館)
電話 36-8565

東部今昔十四景 (其の十四) 「清水東の歴史とこれから」 (清水東町会)

清水東の町名の由来は書籍「松本繁盛記」によると、松本町清水は東端に位置し、古来製紙が盛んで、至る所に清泉が湧出していたことから呼ばれるようになったとのこと。

当地にある耳聞社大神(耳聞神社)は、明治の末頃に政府の御達しにより、金山社大神、駒形社大神、白山社大神とともに縣宮社大神に合祀されましたが、その中で唯一、耳聞神社だけは今も個人の管理によりかつての場所に残っており、地域に親しまれています。



清水東の耳聞神社

今の清水小学校の北側の東西の本通り(県道和田線)は、明治の初め頃は小さな農道であって、今の清水銀座通りと呼ばれている通りが、山辺に通じる唯一の道路でありました。当時の清水東地区には数

軒の家しかなくて、周りは田や畑だけの寂しい所だったようです。この地は水量が豊富で水質も良いことから、明治の中頃には有名な片倉製糸所や製紙工場などが建てられ、特に清水の製紙は蚕産に必要な良質の蚕卵原紙が特産で全国から注文が殺到したほどで、この地で製紙を業とする家は数十件以上あったそうです。

清水東の戸数も次第に増え、現在は地域内に小学校と中学校を有する松本市の中でも有数の大町会となりました。

懸案であった県道和田線の拡幅・歩道整備事業もようやく開始されるようになり、今後一層の発展が期待されております。今の良き環境を更に大切に守っていくべきと思っております。

(清水東町会長 安保隆充)
(資料提供協力 町田耕二)



県道和田線、朝の様子 (清水小前の交差点)